



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.1051 2016 年 11 月 21 日

ARIBの動き

第 2 回グローバル 5G イベント開催概要

11 月 9 日～10 日にイタリア・ローマで「第 2 回グローバル 5G イベント(Global 5G Event)」が開催されました。同イベントは、世界の 5G 推進団体(5G-PPP(欧州)、IMT-2020(5G) Promotion Group(中国)、第 5 世代モバイル推進フォーラム(5GMF)(日本)、5G Forum(韓国)、5G Americas(米国))により年に 2 回共同開催されるもので、第 2 回のイベントが、5G-PPP の主催により、「Enabling the 5G Ecosphere」をテーマにプレゼンテーションとパネルディスカッションが行われました。2 日間のイベントには、政府関係者、通信事業者、製造メーカ、大学、研究機関から 340 人の専門家が参加し、オープニングとして、政府関係者と 5G 推進団体役職者が登壇する 2 つのセッションが開催され、続いて 5G の 1) システムアーキテクチャ、2) 周波数の国際協調、3) 無線インターフェースと無線リソース管理、4) ネットワーク管理とソフトウェアネットワークをテーマとする 4 つのセッションが開催され、プレゼンテーション及び活発な議論が行われました。

開会にあたり、イタリアの通信監督官庁である経済発展省事務次官の Antonello Giacomelli 氏から歓迎挨拶と同国における 5G の特徴を活かしたサービスの研究開発や期待、また次回の G7 情報通信大臣会合の議長国であること等の紹介がありました。

日本からは、政府代表として総務省電波部移動通信課の中村裕治 新世代移動通信システム推進室長がプレゼンテーションを行った他、5GMF から、中村武宏 企画委員長代理(NTT ドコモ)、松永彰 技術委員長代理(KDDI)、中村隆治 技術委員長代理(富士通)、清水敬司 ネットワーク委員会戦略副部会長(NTT)、佐藤孝平 5GMF 事務局長(ARIB)が各セッションにおいてモデレータまたは発表者を務めました。

また、イベント会場の隣に展示会場が設置され、5G-PPP プロジェクトの成果発表やデモンストレーションを中心に 24 団体が出展しました。5GMF からは、ディスプレイを使用した白書の紹介や 5GMF 紹介のパネル展示を行いました。

閉会にあたり、佐藤事務局長から、2017 年の 5 月に東京において、ワイヤレステクノロジーパーク(WTP)と連携し開催する「第 3 回グローバル 5G イベント」の招聘が宣言され、2 日間の日程を終了しました。



会場の様子



佐藤事務局長が次回東京会合の招聘を宣言

日比共同作業部会 第9回会合

フィリピンにおいて日比共同作業部会 第9回会合が開催されました。

- 1 日程：2016年11月10日(木)
- 2 場所：フィリピン共和国マニラ 国家通信委員会(NTC)会議室
- 3 出席者：

(フィリピン側)

コルドバ委員長をはじめとした NTC、情報通信技術省(DICT)他

(日本側)

小川放送技術課技術企画官をはじめとした総務省、在フィリピン日本国大使館、NHK アイテック(デジタル放送普及活動作業班(DiBEG)の専門家として参加)、ARIB 他

4 概要：

フィリピンが地上デジタル放送日本方式(ISDB-T)の採用を決定したことを受けて、日本・フィリピン両国政府間において同国における地上デジタル放送の導入に必要な諸課題について検討を行うために日比共同作業部会を年に数回の頻度で開催しており、ARIB/DiBEG も技術支援を行う立場からこれに参加しています。

今回の会合では、フィリピン側より、日本側の協力によりほぼ全土のチャンネルプランが策定され、順次 NTC より放送事業者に免許が行われる予定であること、DICT より来年2月を目途にデジタル移行計画を発出予定であること、今年4月に発効した同国の受信機規則の中の緊急警報放送システム(EWBS)関連の規定についてメーカーから見直し要望が出されており、対応を検討中であること等の情報提供がありました。一方、日本側からは、総務省より、フィリピン側の関心事項に基づき、日本におけるアナログ停波の経験、4K・8K 試験放送の実施状

況等について情報提供を行いました。また、ARIB/DiBEG より、EWBS の技術に関する情報提供及びデモンストレーションを行いました。

このほか、フィリピンにおける ISDB-T の導入支援のために派遣されていた国際協力機構 (JICA) の伊藤専門家が今月で 2 年間の任期を満了することから、コルドバ委員長より伊藤専門家に対し、その功績を讃える感謝盾が授与されました。



共同作業部会の模様



コルドバ委員長から伊藤専門家への感謝盾の贈呈の模様

フランコ SET 会長との意見交換会を開催

ARIB においてブラジルからフランコ SET 会長をお招きし、意見交換会を開催しました。

1 日程：2016 年 11 月 14 日(月)

2 場所：ARIB 会議室

3 出席者：

(ブラジル側)

ブラジルテレビ放送技術協会(SET) オリンピオ・フランコ会長 他

(日本側)

デジタル放送普及活動作業班(DiBEG) 菅原議長、DiBEG 会員各社、事務局

オブザーバーとして総務省放送技術課より小川技術企画官らが参加

4 概要：

ARIB/DiBEG は、地上デジタル放送日本方式(ISDB-T)の国際普及活動を展開しており、2006 年に日本以外で初めて ISDB-T の採用を決定したブラジルとは特に緊密な協力関係を構築してきています。今般、ブラジルにおける ISDB-T の普及活動において長年に渡り多大なご助力をいただいている SET のオリンピオ・フランコ会長が Inter BEE 2016 ご視察のため来日された機会を捉え、昨年に引き続き ARIB/DiBEG メンバーとの意見交換会を開催しました。

会合では、フランコ会長から事前に寄せられた要望に基づき、次世代放送に関する意見交換を中心に実施し、日本側からは 4K・8K 放送の最新動向について説明を行いました。一方、フランコ会長より、ブラジルでは今後、放送用周波数の見直しが行われるため、数年以内に次世代放送に関する具体的な方向性を示すことが求められており、日本における 4K・8K 放送の動向に非常に注目していること、今年に入りブラジルでも放送事業者、メーカー等の関係者が参加した UHDTV フォーラムが設立され、次世代放送に関する検討が開始されたこと、次世代放送においても日本方式をベースに検討していきたいと考えており、当面の取組として既存の 2K 放送への HDR の適用について試験を開始したこと等について情報提供がありました。

また、ブラジルにおける地上デジタル放送の更なる発展のためには日伯両国の協力関係を一層強化していくことが重要であり、今後とも ARIB/DiBEG と SET の間で連携を深めていくことを確認しました。



意見交換会の模様

第 10 回地域 WiMAX 推進協議会シンポジウムを開催

当会は、地域 WiMAX 推進協議会(会長：土居範久 慶應義塾大学名誉教授)と共催で、11 月 17 日(木)に「第 10 回地域 WiMAX 推進協議会シンポジウム」を当会の会議室にて開催しました。

地域 BWA については、平成 26 年 10 月の制度改正により、LTE をベースとした高度化方式の利用や、20MHz 帯幅の割り当ても可能となり、より高速で高品質、高機能な通信サービスが可能となったことから、現在、高度化方式へ移行する事業者や高度化免許による新規の事業者が全国各地に少しずつ立ち上がっている状況で、今後も全国各地で、事業開始が着実に進んでいくものと思われます。

本シンポジウムにおいては、地域 WiMAX 推進協議会の安田靖彦 顧問(東京大学名誉教授、早稲田大学名誉教授)からのご挨拶の後、総務省様から地域 BWA の状況について、BWA 推進部会から部会活動報告(各分科会報告)及び利活用事例集について、日本ケーブルテレビ連盟様から地域 BWA の取組みについて講演が行われました。それに続いて、参入事例のほか、コアの説明や、アプリケーション紹介など、「地域 BWA 事業への参入に直接的に役立つ情報」をテーマとして、秋田ケーブルテレビ様から地域 BWA への事業参入状況について、阪神ケーブルエンジニアリング様からコア事業の説明について、ファースト・ジャパン様から無線システムへの取組みと今後について、TOA 様から地域 BWA を活用したアプリケーションの紹介についてご講演をいただきました。

また、阪神ケーブルエンジニアリング様及び TOA 様のご協力により、地域 BWA で利用可能な LTE 端末、IP 告知放送、ネットワークカメラ、防犯用スリムスピーカ等を展示頂きました。

当日は会場一杯の 100 名を超える皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、活発な質疑応答が行われ、地域 BWA に対する関心の高さや期待が伺えました。

なお、講演のプレゼンテーション資料につきましては、協議会ホームページ(会員ページ)において公開予定です。

問合せ先：地域 WiMAX 推進協議会事務局(一般社団法人電波産業会内)

ホームページ(各種問合せ)：<http://www.chiiki-wimax.jp>



第 10 回地域 WiMAX 推進協議会シンポジウムの様子と挨拶される安田靖彦顧問



総務省移動通信課
田中 隆浩 課長補佐



地域 BWA 推進部会
伊藤 直人 部会長



日本ケーブルテレビ連盟
無線利活用委員会
田村 欣也 委員長



秋田ケーブルテレビ
末廣 健二 副社長



阪神ケーブル
エンジニアリング
松田 耕治 部長



ファーウェイ・ジャパン
秋山 直也
マネージャー



TOA 株式会社
凍田 裕一 課長



展示コーナーの展示品

今週の ARIB 内会合（11 月 21 日～11 月 25 日）

- 11 月 21 日（月）：素材伝送開発部会 素材伝送用 HEVC コーデック評価 JTG
- 11 月 22 日（火）：スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班
- 11 月 22 日（火）：第 246 回技術委員会（放送分野）
- 11 月 25 日（金）：第 146 回電波利用懇話会

今週の国際会合（11 月 21 日～11 月 25 日）

- 11 月 24 日（木）：日ボツワナ共同作業部会（第 5 回）（ボツワナ・ハボローネ）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp